

2019
8月

Sasaiレポ

発行/佐佐井株式会社
北九州市小倉南区上曾根新町 2-25
☎093-472-1335
FAX 093-472-1790
http://www.bf331.com

セブンペイ9月末廃止

セブン&アイ・ホールディングス（HD）は1日、スマートフォン決済サービス「セブンペイ」を9月末で廃止すると発表した。同サービスは7月1日から始めたが、何者かに不正利用される事件が発生。セキュリティ対策には時間がかかり、信用回復も難しいことから撤退を決めた。

9月末でサービスを廃止し、10月1日以降、残高が残っている利用者には返金対応する。IT（情報技術）や小売り大手が力を入れている決済サービスを廃止することはセブン&アイの成長にとって大きな痛手になる。

セブンペイを巡っては、利用者から「身に覚えのない取引があった」などと問い合わせがあり、7月3日に不正利用が発覚した。同月31日時点で約800人計約3860万円の被害を認定している。

セブン&アイHDは高額なチャージ（入金）ができるクレジットカードによるチャージを停止するなどの措置を取っていた。だがセブンペイとしてのイメージ回復は難しいと判断したようだ。

—日経MJ2019.8.2—

「聞いてたのと違う」8割

入社3年以内の若手社会人

入社3年以内の若手社会人の約8割が、入社前のイメージと現実が異なっていたと感じていることがわかった。パーソルホールディングスの子会社が発表した調査によると、給与水準や仕事の裁量が想定よりも悪いと感じている社会人が多い。売り手市場の採用活動で企業は前向きな情報を発信しがちだが、実態との落差が激しいと早期離職につながる。

入社3年以内の大卒社会人600人と入社3年以内に離職した200人に聞いた。入社前に抱いていたイメージと入社後の実態に差がある「リアリティ・ショック」を感じていると答えたのは76.6%に達した。具体的にイメージと違ったことを複数回答で尋ねたところ、「給料・報酬の高さ」が37.4%で最も多かった。仕事内容への不満も目立つ。「仕事で与えられる裁量の程度」は31.5%、「仕事から得られる達成感」は31.3%に達した。「仕事のやりがい」という答えも30%あった。インターシップなどを経験する学生が増えているが、限られた時間のなかで実態を知るのには簡単ではないようだ。

—日経MJ2019.6.9—

favyが「ゴーストレストラン」

一厨房「間借り」宅配は代行でー

飲食店支援のfavy（ファビー、東京・新宿）は10日からデリバリー専門店を開業する。デリバリー専門店として開業するのはパワーサラダ「SMART SALAD FACTORY（スマートサラダファクトリー）」と焼き肉「X-BEEF」の2業態に、同社が従来より手がけるカフェ「coffee Mafia」の計3つ。スマートサラダファクトリーは、ピピッドガーデン（東京・渋谷）が提供するオンライン直営店「食べチョク」を使い、農家から直送された有機野菜を使う。調理拠点となるのは都内で営業する料理店「re:Dine（リダイン）GINZA」（東京・中央）だ。昼はランチビュッフェ、夜は複数のシェフがキッチンを間借りし、それぞれ独自のメニューを提供するシェア型のレストランとして営業している。

スマートサラダファクトリーなど3業態は昼の時間帯に厨房の余剰スペースで調理。「ウーバーイーツ」「出前館」といった宅配代行サービスを使って注文者のもとに届ける。飲食店が自前の調理設備を持たず店を開く「ゴーストレストラン」は宅配代行ビジネスの普及している米国、中国などで拡大している。

—日経MJ2019.6.9—

セブン、沖縄オープン

セブン-イレブン・ジャパンは11日午前、セブンとして最後の「空白地」だった沖縄県に進出した。これで全国47都道府県への出店を果たした。那覇市の店舗での式典で古屋一樹会長は「万全の体制を整えた。ぜひ食してほしい。地域のお客様が『便利になった』という店を今後も作っていく」と話した。沖縄進出にあわせてつくったセブン-イレブン・沖縄（那覇市）の久鍋研二社長は「セブンでしか味わえない安全、安心でおいしい商品をそろえた。県民の期待に応えていきたい」と述べた。11日は沖縄県内の14店舗が午前7時に開業した。那覇市の店舗では開店前に100人の行列ができた。開店後も来店の流れは止まらず一時200人の列ができた。

—日経MJ2019.7.12—

